

新ごみ処理施設整備基本計画（素案）にかかる説明会 議事録

日 時 平成28年12月22日（木）
 場 所 高蓮集会所（高尾新田地区・蓮沼新田地区）
 会議時間 午後 7時00分から
 午後 8時32分まで
 参加人数 6名
 顛末

司会（関根主幹）	1 開会
根岸事務局長 菅野副町長 金子区長（高尾新田地区）	2 あいさつ
司会	出席者紹介
事務局	3 新ごみ処理施設整備基本計画（素案）について 資料をもとに説明。
質問者A	4 質疑応答 大気汚染防止について、基準を満たせば健康被害はないとのことだが、そもそも施設がなければ汚染はない。それでも蓮沼新田、高尾新田は建設に同意した。飯島新田、江和井は道路が整備された。同意を渋っていると道路整備が進むように見える。蓮沼新田、高尾新田はすぐに同意したため軽視されているのではないか。久保田新田では条件闘争をしたと聞いた。
事務局	道路がよくなれば分家もできるし、町の外に若い人が出ていかない。蓮沼新田は何してもらえない。地元にもメリットがほしい。 環境影響評価では、風向・風速などを踏まえて汚染物質の拡散を予測・評価する。安全・安心な施設建設に向けて取り組みたい。
菅野副町長	大気汚染物質については、ダイオキシン類以外はリアルタイムで計測結果が見られる。住民に対しては、積極的に測定結果をお知らせしていきたい。
質問者A	周辺の道路の整備については、長い目で見ていただいて地域の整備、活性化を考えていただきたい。組合を構成しているのは吉見町だけではないので、ほかの市町村と調整しながら整備していくこととなる。整備に当たっては、地元の声をまとめる組織の設立を考えている。
	前は市川副町長から東第二地区は地元であると回答があった。副町長と船橋課長に現地を見てもらった。その時に何年も先の整備では蓮沼新田は消滅してしまうと伝えた。その後2年経ったが町から何の返答もない。高尾新田の神社の向こうのU字溝は整備された。蓮沼新田もやってほしい。

菅野副町長	<p>町全体としてみて、人口が減少している地区が多い。町としてはいろんな施策を行っている。道路を整備するのも一つの方法である。予算があるので順番に整備している。</p> <p>東第二地区と芝沼地区は地元として平等に扱っていききたい。まずは住民の協議会を立ち上げたい。</p>
質問者A	<p>健康増進施設について、大きい介護施設をつくったらどうか。熱と電気があるので光熱費が安くでき、モデル地区となるのではないか。寝たきり老人が200人も300人も入れる施設があれば雇用が生まれる。</p>
事務局	<p>現在、組合で第一に進めているのは国の交付金を受けてごみの処理をする施設をつくることである。次の段階として、ごみを燃やして出る熱を周辺の施設で利用したいと考えている。提案いただいた介護施設について、介護の入所施設をつくるとなると国の制度に組み込むことは困難であると考えている。地元組織の中で、本事業だけにとどまらず地域の将来を考える機会をつくりたいと考える。</p>
質問者B	<p>燃やせるごみについて、吉見町は収集段階できちんとした分別が求められ、役場の窓口にお問い合わせでも分別について厳しく説明される。新施設はある程度の分別で燃やせる施設となるのか。</p>
事務局	<p>幹事会で協議した結果、結果として、現行と同じような区分になると思われる。きちんと分別して、できるだけ資源化する方針である。それでも資源化ができないものについて焼却する。</p>
質問者B	<p>大まかな分別にして収集車が取り残すことがなくなってほしい。</p>
質問者B	<p>基準値について地元の声を聴くということだが、建設検討委員会で検討するということか。</p>
事務局	<p>建設検討委員会には地元代表で3名入っているが、地元7地区すべての意見を反映することはできないと考えている。地元の声を聴くのは地元組織であるにとらえている。</p>
質問者B	<p>どこまでが地元かというのは難しい問題である。蓮沼新田としては地区の将来のために協力していきたい。新施設の運営について、地元雇用に優先してほしい。</p>
質問者B	<p>P F I 導入の可能性はあるのか。</p>
事務局	<p>公設公営、公設民営、民設民営と事業方式は様々である。どの方式が本事業に適しているのか調査したいと考えている。</p>
日環センター	<p>一般的な事例から、近年は公設公営、いわゆるDBO方式での発注件数が増えているようである。設計段階から運営会社が入るという方式である。</p>
事務局	<p>2月中旬の自治会役員改選時期までに地元代表の選出をお願いしたいので協力いただきたい。</p>
質問者C	<p>新施設ができたなら、古い施設はすぐに壊すのか。</p>

中部環境保全組合	解体については、正副管理者会議で検討している。埼玉中部資源循環組合と鴻巣行田北本環境資源組合ではほぼ同時期に稼働する予定である。ごみが入ってこない段階でなるべく早く壊したい。解体基金も積み立てている。
質問者C	荒川荘はどうなるのか。
中部環境保全組合	荒川荘は吉見町の管理なので焼却施設とは別である。
質問者C	新施設の名称はどうなるのか。
中部環境保全組合	埼玉中部資源循環組合で別の名称を考えるのではないか。
質問者C	古い施設の跡地利用はどうか。
中部環境保全組合	3市町でもっているものであるので、構成市町の意見を聴きながら決めていきたい。
司会	5 閉会のあいさつ
	— 以上 —